

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	乳癌 nab-PTX療法		臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2012年12月1日	
疾患名	乳癌		<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	<input type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他	1クール期間	21日	
診療科名	乳腺・甲状腺外科				実施回数	/回	
登録医師名	野村 長久						

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
2	生理食塩液 デキサート注射液 6.6mg	100 1	mL 瓶	点滴静注	側管	15min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	投与終了後、生理食塩液でフラッシュすること。
3	生理食塩液 アブラキサン点滴静注用	100 260	mL mg/m2	点滴静注	メイン	30min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	各バイアル生食20mLで溶解し、使用量の空き容器に注入 ※メインルート使用（生食のみ配合可能） ※インラインフィルターを使用しないこと。 ※特定生物由来製品であるため、ロット番号入力を忘れないこと。 ※特定生物由来製品であるため、同意書が必要
4																	

備考欄

文献

減量・中止基準			※肝転移を有する場合は、各施設基準値上限の5倍まで許容
	減量基準	再開基準	
好中球数	<500/mm3	≥1500/mm3	
発熱性好中球減少症	発現	回復	
血小板数	<50000/mm3	≥100000/mm3	
肝機能値 (AST、ALT)	医師が同一用量で継続困難と判	≤ULN×2.5倍※	
末梢神経障害	≥Grade3	≤Grade1	
皮膚障害	≥Grade2	≤Grade1	
粘膜炎・下痢	≥Grade3	≤Grade1	
その他非血液毒性(脱毛を除く)	≥Grade3	≤Grade2	

減量の目安	
減量段階	投与量
通常投与量	260mg/m2
1段階減量	220mg/m2
2段階減量	180mg/m2

参考文献: 癌化学療法レジメンハンドブック第7版 p296